

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第9回 常任理事会

日 時：2014年 9月 10日（水）19：00～21：00

場 所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)  
（ 直 前 理 事 長 ）：  
（ 顧 問 ）：  
（ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山  
（ 専 務 理 事 ）：中島(崇)  
（ 監 事 ）：黒川、飯野  
（ 担 当 常 任 理 事 ）：金  
（ 全国大会招致会議議長 ）：羽石  
（ 会員拡大会議議長 ）：高松 (代理)  
（ 協働連携特別会議議長 ）：篠崎  
（ 法令会計審査会議議長 ）：廣田  
（ 未来創造グループ ）：林  
（ 事 務 局 長 ）：橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)  
2. J C I クリード唱和 <羽石>  
3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <金>  
4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <林>  
5. 関東地区宣言唱和 <篠崎>  
6. 出席者の確認 <橋本>  
出席理事名 14 / 14 名  
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>  
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>  
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>  
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは、第9回常任理事会にお集まりいただきましてありがとうございます。またご設営していただきありがとうございます。まず始めに総務委員会の話をしたいと思います。いま専務の方から議事録の話があったと思いますが、公益社団法人として議事録を残しておくということは非常に重要なことなんですけど、見えないところで総務委員会がどれだけ苦労しているかということです。私も若いとき議事録を担当したこ

とがありまして大変でした。特に若いメンバーが担当することが多くて言葉などでJ C的な表現であったりしてJCを学んでいく部分も多々あると思います。せっかくあるものですからこの議事録を是非活用して頂きたいと思います。多分そんなに皆さん議事録を振り返っていないと思いますが、私の挨拶も入っていますし、もちろん監事講評も入っています。監事講評の指摘というのは、ほんとに特別だといつも思います。毎年監事は変わりますが、やっぱり監事になると見方が変わります。担当している委員会やラインがありませんので客観的にしっかりした見方ができています。それがしっかり議事録に残っているので是非ご確認していただいて、また自分たちのラインの議案の意見と対応をしっかり議事録につけて頂いていますので、有効に活用しない手はないと思いますので、ぜひ議事録を振り返って頂きたいと思います。同じ指摘をされてもしょうがないですし、自分がされてなくても他のラインで指摘されたことを自分のことと受けとめた方がいいと思います。我々は一つの団体ですから、そういった形で色々な素材があるわけですから有効に活用して頂きたいと思います。

そして9月例会のストリートダンス選手権お疲れさまでございました。朝田副理事長、林常任、ご苦労されてきたわけでありましたが、この前の例会で話した通り感激をした部分がありました。やはり議案の精度をあげてもどこまでいっても8割程度だと話しましたが、残り2割を、審議が通ってから事業実施まででどれだけ埋められるか、当日集中して出来ていたか、本日の例会では大変出来ていたのではないのかと思います。もちろん出場した子供たち、父兄達、協力団体や町の人たちも見て頂いて、宇都宮J Cの活動を幅広く知って頂くよい機会になったとともに、子供達の成長や何か目標に対して取り組んでいくという機会の提供が出来たのではないかと思います、ほんとにありがとうございます。

そして、専務も来年の日本J Cの出向がいよいよ始まりました。これからLOMの須山次年度の2015年度組織も動き始めております。切り替えが大切な時期だと思います。2014年度の役割と2015年度の役割、もちろん今年の出向の役割と来年の出向の役割というのをこれからの3ヶ月は、は一番忙しくなる時期になりますから、いつもよりモチベーションが上がってくる時期ではありますが、だからこそ切り替える意識を強く持って頂きたいと思います。そして今年も出向されている人たちは、まだまだこれから、全国大会と世界会議を控え、これから集大成を向かって非常に頑張っています。ぜひその姿を来年出向者される方は出向者の目線で見たいと思います。高いレベルで活躍している出向者が数多く宇都宮J Cにはいますので是非学んで頂きたいです。来年も出向に対して前向きに挑戦できる年で頂きたいと思います。

そして16日には、会員拡大会議が担当しています、2011年の日本会頭でありました福井正興先輩伊右衛門で有名な福寿園の社長であります。日本J Cの先輩ではなく、福寿園の社長として来て頂くわけです。これはビジターをより多く集めるために福寿園の社長にわざわざ京都から来て頂くのです。実際14日までロシアまでいてその二日後に宇都宮まで来てくれるという、かなりハードなスケジュールを御厚意で来て頂いておりますので、このチャンスを是非活かしてほしいなと思います。太城議長もたいへん苦労をされて、この人なら声をかけやすいなと考え福井先輩となりましたので、しっかりラインで委員会に伝えて頂いて、ビジター世代でなくても例えば会社の社長を呼んで、その人の会社の若手をJ Cに預けようという気になってくれればそれは拡大につながると思いますので、ビジターの先入観にとらわれず多くの人を集めること。これはビジネスセミナーですし、宇都宮も活気づきますし、宇都宮J Cの名前をアピールする機会でもありますから、これが拡大にもつながります。チラシも出来上がりましたので是非よろしくお願ひします。

それから、来月伊達に視察に行くという話がありますが、委員会はかなり綿密に準備を進めていますので、協力してさらにより良い事業に発展出来るよう構成メンバー中心になって残り4ヶ月進んでいきたいと思います。それでは第9回常任理事会を本日どうぞよろしくお願ひします。

## 11. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

## 1 2. 役員報告

<金> 地域交流委員会から連絡です。さきほど理事長から視察の件のお話がありましたが、13日にバスを無料でお借り出来まして委員会メンバーで福島県の海岸沿いを見て回って視察のスケジュール等を綿密に調査して参ります。もちろん調査が目的ですが、是非委員会メンバー以外の方々にも福島県の現状を見て頂きたいです。今回バスがでるということで、体さえ空けて頂ければ、バスに乗って寝ている間に着いてしまうという状況でございますので、お時間がある方は、視察に行くことをご検討頂きたいと思っております。13日朝8時コンセーレ出発でございます。急な案内申し訳ないですが12日の12時までにとりまとめをしていきたいと思っております。福田副理事長がその窓口となりますので何か質問等がありましたら、福田副理事長まで連絡を頂ければと思っております。その他理事会構成メンバーと各委員長には木村委員長から連絡いたしますのでよろしくお願い致します。

<高松> 9月16日コンセーレ大ホール19時より福寿園社長が講演にいらっしゃいます。すばらしいチラシを作って頂きましたので、各ラインの皆様にはチラシをお持ち帰り頂きおくりして頂きたいと思っております。市民の方々をはじめ、ビジターを大勢連れて頂けることと信じておりますので何卒よろしくお願い致します。

<篠崎> 関東地区委員会からのお願いでございます。今月9月27日28日関東地区大会が行われますが、27日に前夜祭が成田ビューホテルで行われます。せっかくの機会ですとお時間を作って頂ければと思っております。

<中島> 21日2時より小山J C 45周年記念式典が行われます。理事長と私が出席します。

## 1 3. 協議事項

協-01 第110回通常総会 開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<林> 会場選定ということで、副次的な効果があったと思いますが、今後も主たる目的でない会場の選定においては、チャレンジしていくべきかどうかどのようにお考えでしょうか？

<橋本> 総会ということを抑えた場合には、会場がどこであるかというのは問題ないと思っております。総会自体が一番大切なことだと思います。ただ今回良かったのは青年会議所自体がチャレンジする組織であるという点で、総務委員会は一生懸命チャレンジしたのかと思います。総会の中身とはずれてしまっていますが、チャレンジしていく姿勢というのは出していった方がいいのかと思われました。

<村上> 場所については、総会が滞りなくやれば良いですが、ただ今回こういう立地で出来たというのはほんとにいいことだと思います。総務委員会というのはしっかり事務的なこと当たり前のことをするのは大切ですが、何かメンバーに訴えるエッセンスがあってもいいんじゃないかと思います。本当にご苦労があったと思います。

## 協-02 11月例会 まちづくり事業開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>まちづくり共同宣言文は対外資料ですので、これは参考資料ではおかしいです。それから中身ですが、街づくり共同宣言文というのは、タイトルの大文字が繋がる町づくりサミットという事業名だとどうかと思いますので、町づくり共同宣言文でいいんじゃないでしょうか。その辺を修正願います。

<金> 記者会見、取材の依頼をするということですが、これはプレスリリースとは別に書面を作るのですか？それともプレスリリースも兼ねているのか？もし兼ねているのであれば、文面は再検討されればと思いますがいかがでしょうか？

<林> プレスリリースの件でございますが、取材依頼リストについては、まだリンクしない部分がありますので、こちらの内容を見直して参りたいと思います。記者会見に関してはプレスリリースもそうですが、積極的なお声かけをしまして少しで多くのプレスの方に御越し頂けるようにと考えております。

<金> 参加追伸計画のところですが、下野新聞とリビングマロニエと告知記事、掲載依頼ですが、下話はどの程度進んでいるのですか

<林> 下野新聞に関しては事前の告知の部分で、2回以上出していただけるようになっています。また、事業が終わった後に共同宣言としてもう一度記事を書いていただけるようになっております。その他、マロニエ等は今後JC運動発信委員さんと一緒に詳細について詰めていければと考えております。

<羽石> ポスターはどうなっていますか？パネルの展示をプレゼンテーションの時間帯以外に集めるというのですが、どこまで打ち合わせがどれだけ進んでいるのですか？あと7月の例会の対応後で自治体連合会の回覧で必要な枚数が1万6千枚と書いてありますが、予算を見ていると多少余っているのですがどのようにお考えですか？レイアウトで椅子が336と書いてありますが、一般市民の参加動員が500名とJCメンバーもなるべく市民として参加してくださいと書いていますが、500名というのはどのような根拠で出しているのでしょうか？

<林> ポスターに関しましては、何パターンか作りましてその中から多数決致しましたが今日の意見を参考により良いものを作って参りたいと思います。参加団体の進捗状況ですが、自治体に関しては、自治体連合の会長から5自治体の推薦をお願いしております。現在、すでに5自治体から推薦を頂き、実際に会って詳しい話をしたというところは3自治体となっております。非常に積極的に活動している自治体と聞いておりますので、是非そちらの自治体と上手く協力し

ですすめていきたいと思ひます。NPO に関しては、こちらは町ピアさんと現在相談をしていまして、町ピアさんの登録 NPO さんからも 2 つの NPO 団体を推薦して頂いておひます。まだ詳しい活動内容を聞いていませんが、そちらとお会ひして内容を確認しながら進めていきたいと思ひます。CSR はまだ推薦団体がいませんが、現在 2 団体こちらからお声掛けをし、前向きに検討を頂いておひます。大学生については、一団体が話を聞いてみたいという積極的な学生がいて、そちらの学生と一度お会ひしてあります。スケジュール等の問題がありますので、推薦とお声掛けなどで、なるべく多くの参加団体を増やしていきたいと考えておひます。

回覧の件ですが、予算がかかるという問題がありまして、とりまとめをしている自治体に郵送で送ってほしいという依頼がありました。その郵送費を検討しましたが、10 万くらいはかかってしまうということで、まだ予算書には計上をしていませんが、全体の予算と広報計画も含めてもう少し検討したいと思ひます。動員計画ですが、なるべく若い方を動員したいと思ひまして、若い方が集まる場所にポスターを掲示していきこうと計画を進めています。ただ、ポスターを貼るだけではなく、やはり参加団体の声かけをして、どこかで複合的な効果が得られるのではないかと計画しておひます。席は約 300 何十席用意していますので、動員計画の 500 名に対しては全員座ることは出来ませんが、やはり会場が非常に開示性の高いところがございますので、座れない方がいらっしゃるかもしれませんが、オリオン通りを歩いている人たちにも立ち寄って頂きたいという思ひがございます。JC メンバーに関しては最後尾に座って頂きたいと考えていますが、万が一一般市民がたくさんいらしたあかつきには、立ち見での参加でご協力をお願いしたいと考えておひます。

<羽石> パネルの募集ですが、もう審議になりますのである程度数を出していかないと理事メンバーが議案を見て不安が拭えないので検討頂きたいと思ひます。パネルはやはり 30 くらいあったほうが良いと思ひます。例えばパネルを数枚オリオンスクエアに張ってもわからないと思ひますので、ある程度パネルの数をまとめて展示することによって遠くからの視線を集められるのではと思ひますので検討ください。

自治体の郵送の件、10 万かかるということで、それも委員会で予算を詰めているところ思ひますが、せつかく 150 万という予算があるので充分まかなえる額ではないかと思ひます

<高松> NPO 参加依頼計画リストがありますが、そこにある団体との進捗状況を教えてください。

<林> こちらの依頼リストはまちぴあさんに登録している NPO 団体さんをリストアップしていまして、この中から推薦、お声掛けを進めています。現在 2 団体が是非参加したいという返事を頂いてあります。

<高松> では他の 18 団体は、まだ考え中という状況ですか？

<林> 今現在は、まちぴあと打ち合わせを進めている段階で、まちぴあさんを通してお声かけをして頂いている状況です。ただ今後に関しては参加団体が思うように集まらなければ別の方法を考えなければと思ひます。

<金> 担当役割分担表で、1～4 の委員会は担当がありますが、他の委員会では役割がないのでしょうか

- <林> こちらについては、それ以外の委員会さんについては積極的に席に座ってもらう、しっかり内容を聞いて頂く、そしてしっかりとした意思表示をして頂くということで考えております。
- <金> 宇都宮 J C の例会であれば、メンバーは何かしら役割があるべきではないかと思えます。例えば、多くの市民に参加してもらいたいのであれば、オリオンスクエアという立地条件をいかして、道路使用許可をとってピラを配るとか何かしらの役割を与える手法を考えていただければと思います。委員会内で検討ください。
- <橋本> パネル展示が必要でしょうか。プレゼンテーションをするのであれば、パネルがあるがためにステージに注目が集まらなくなってしまうのではないのでしょうか？もしパネルが必要であれば、せっかくダニエルカールさんがいらっしゃるの、だったらパネルにダニエルさんの内容を貼って今プレゼンテーションしている人ですと紹介できるのではと思います。
- <林> パネルに関してですが、参加団体同士の連携が非常に大切なことだと考えています。そのため時間の制約で 10 団体となっていますが、連携のためにはより多くの市民団体にパネル展示して頂きたいという思いがあります。
- <橋本> プレゼンテーションをしないでパネル展示だけの団体があるというのであれば、そのパネル展示であれば、ダニエルさんのパネルにした方がなおいいのではないのでしょうか。会場をみたときにパネルは端にあると思いますが、芸能人がそちらの方までマイクを持ってオリオン通り側までインタビューに来るのであれば、通行人も気にかけてくれると思いますのでそのあたりも考えて頂ければと思います。
- <高松> 議案を今月末に審議を通すのであれば、ある程度団体が出る予定が決まっていないという不安定な状況で、理事会にもってくと理事会構成メンバーもやりづらいと思いますので、もう少し執行部内で検討して頂けないでしょうか？
- <林> 参加団体 10 団体に関してはめどがついていますので、確実に次の審議までにはまとめたと思います。公募に関しては、審議を通ったうえで公募する流れを考えていましたので、こちらの参加団体のまとめ方については再度検討いたします。
- <廣田> まちづくりの共同宣言文の、記者会見の打合せの進捗状況を教えてください。
- <林> 共同宣言文に関しましては、参加団体が正式に決まっていないので、今は参考にこういうのを作りたいという段階で、こちらはたたき台にして参加団体と打合せを進めていきたいと思えます。
- <廣田> そうしますと審議対象資料とさきほど専務がおっしゃっていましたがどのようにお考えでしょうか
- <林> 共同宣言文となりますと性格上、JC だけで決めるのではなく、多くの意見を聞いたうえで決めないといけませんので、できましたら審議対象資料としてではなく参考資料として考えています。

<中島崇> 今の話を聞くと、例えばNPOやCSRの意見を聞いて変えてしまうとこの文章が意味をなくしてしまうと思います。共同宣言文ではなくなってしまうと思います。逆に打合せをして共同宣言文を作っていくようにしないとダメです。その意味でプレスを呼んで、メディアボードを作って、記者会見やります、調印式をやりますというところまで話をしていますので、正副の意図と違ってしまいます。

<林> 大変申し訳ありませんでした。早急に参加団体と共同宣言文までしっかり打合せをして次回の理事会までに上程したいと思います。

<中島崇> 間に合わせるということでよろしいですか

<林> はい

<中島崇> ポスターですが、正副理事長会議時と内容が変わっていますが、スイーツが全面に出した内容ではなかったと思います。スイーツはあくまで付加価値で事業とは直接関係ないものだと思いますが、その文言を議案から削除して参考資料程度いいと書いてあるのに、一番市民にアピールしていくポスターがスイーツイベントのようにしているので違和感がありますのでそこは修正して頂きたいです。

<金> 共同声明に署名するのは、行政にとって非常に重いものと思いますが、市長側と行政側とはどの程度すすんでいるのか？

<林> 行政側とはプレゼンテーションをして共同宣言文を行いたいという事業内容の説明の段階で具体的な文言等々については打合せは出来ておりません。

<金> 内容によっては署名出来ませんという部分もあると思いますので、重々そのあたりをしっかりと打合せしてください。

<村上> いろんな意見を頂いたと思います。委員会の言っていることもわかります。整理をすると、審議を通らないと公募ができない、公募しないと出てくる場所も決まらないというのも理解出来ます。宣言文にしても、出てくれる人が公募する前に宣言文が出来上がっているのはおかしいというのも意味がわかります。ただ宇都宮JCの事業で今回町づくり共同宣言を行うのは肝なので、公平性は担保しなければいけません。それなので初めからこの団体は出てもいいけど、この団体は出てはいけないのは、こちらで作為的にするのもあまり良くないのではないかと思います。例えば、まちづくりとか市民の問題意識はいろいろあっていいと思います。だからNPOがあるのです。だから街づくりには絶対すべて必要です。そこらへんを上手く平等性を意識してほしいなと思います。そこは慎重をお願いします。例えばプレゼンテーションするところはある程度決めておいて、公募する団体についてはダニエルカールに写真付きで活動を紹介して頂くとかの手法なんかもいいかと思います。それと、宇都宮市長の署名は大丈夫なのか不安で、最悪これは立ち会いがなくてもいいのではないかと思います。最後に共同宣言文は何か額か何かで残す形で渡せばと思います。最終的には各団体に事務所に飾ってもらい、来年以降もこういう宣言に向かって連携して活動していきましょうというのがサミットの趣旨であります。それと記者会見というのは非常に難しいので、水面下で来てもらえるような確約をうま

くマスコミととれるよう豊崎委員長と絡んでおこなってください。実際記者会見をいざやって記者が少なく団体が多くなってしまうとがっかりしてしまうのでそこだけは気をつけてください。最後に、町づくり団体の設えをする中で、JCの活動もアピールする絶好の機会でもあります。これは会員拡大にもつながるのでそこも委員会でも少し考えみてください。

#### 協-03 第111回通常総会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <篠崎> 今年度の役員予定者にお声掛けの部分が事業計画に書いてあるのであえてこちらに書かなくてもいいのではないかと思います。
- <村上> 前回の総会で動員が伸びたのは、総務委員会がすごく動いてくれたという、その熱意が大きな要因だったと思います。今回ベルヴィでやるということで返って出席率が下がってしまう懸念があります。案外近くの方が来てくれなかったり、担当委員会も気が緩んでしまうかもしれないので、ぜひ総務委員会も前回同様の必死さで取り組んで頂ければと思います。

#### 協-04 11月 報告事業（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <中島崇> 全国大会の対話集会方式を考えていると思いますが、イメージがついてないので説明してください。誰がどうしてどういうリアクションをとって、誰が答えるまで、全部リハーサル通りにやるんだというのを説明できればと思います。
- <橋本> 説明いたします。全国大会対話方式は、その主管の人たちに対して、全国大会運営会議野皆さんが質問をあげて答える形ですが、全員が一斉に手を挙げる。回答する側はセレモニーのように全員が「はい」と手を挙げ、その中で司会の人これがという人を指して回答して頂くようになっております。これは非常にJCらしい形でございます。もちろんリハーサルはさせていただきます。
- <中島崇> 全国大会の対話方式集会は、実際には報告という意味でやっていますが、実際に来年どうするかは分かりませんが、LOMで一度やってみるところの話です。
- <金> 15分の休憩時間を設けるとするのは、時間を有効に使うのであれば、大会を15分遅らせてやってもいいのではと思います。
- <橋本> おっしゃる通りだと思いますので、委員会に持ち帰らせて頂きます。
- <高松> 対話集会形式やシナリオの質問の内容をみる限りでは、副会長が参加する意味はないのではないかと思います。実際に委員会を経験されている副委員長さんが執行されていますので、そういった方に出て頂いてもいいのではないのでしょうか。



<羽石> 人選についてですが、できれば山田副議長、彼はほんと一年副理事長を支える意味でも小幹事として頑張っていますので、LOMに残す意味でも出向者側もいいのかなと思います。参考にして頂ければと思います。

<篠崎> 例会の時間帯ですが、120分というのが長いイメージがあります。例えば、休憩なくして90分試してみても集中できるのではないかと、もう一度考え直してもらえればと思います。

<林> ○×形式のディスカッションですが、ステージのレイアウトで、回答者の人が○か×か、何を出したか会場の人に分かると盛り上がると思うのですが、今の並びだと分かりづらいかと思いますので検討頂ければと思います。

<羽石> 軽食を提供しますという表現がありますが、これは、問題ないでしょうか？問題なければ結構です。

<村上> 喋る人とムービーのことが気になっています。これは12月のさよなら例会で総括VTRとして流すと思いますが、そこは拡大委員会とよく打合せてほしいと思います。ただ趣旨の棲み分けをしてほしいです。たとえばさよなら例会で一年の運動を振り返って映像を流すイメージがありますが、そうするとそれぞれの活動を映像で見せていくと思いますが、委員会の間の活動を包括したことを考えるとその棲み分けの打合せをしっかりしてほしいと思います。それから、出向者については、いわゆる親分じゃない人たちを流すことで身近に感じられるという効果があると思いますが。例えば関東地区協議会の会長がいて、日本JCの委員長がいるのです。その人たちの一年間の活動の話を開けないというのは大きな損失です。たとえば赤松委員長は今年理事でないですから、LOMの中で話す機会がないわけです。ただ赤松委員長は世界を歩いてきて、すごい経験をされてきて、それをメンバーが話を聞けないで1年間が終わるのはもったいないです。なので、その辺の人選は考えたほうがいいです。もし仮にそのような形でやるのであれば、例えば、さよなら例会で山本会長が会長として話す、赤松委員長が話す場面があればわかりませんが、もしなければ何かしら考えないともったいないです。

#### 14. 報告事項

##### 報告事項

報-01 対外出向者について

報-02 年間公式スケジュールについて

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)> ご確認ください。

報-04 会費納入状況について

<廣田> 本日のデータ後に2名入金を頂いております。まだ未入金のメンバーに関しては委員長、常任からお声掛けして頂いて入金して頂くようお願い致します。ただ現状で皆さん9月中には入金できると連絡を頂いております。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 例会出欠報告について

<中島(崇)> 先月理事会で澤畑監事が右手をあげる大事さについて話していましたが、その話を聞いた後の例会で理事が来てない人が何名かいました。ダンスは事業内容としては非常に良かったと思えました。市民の参加、広報結果を含めて。そういうところを鑑みてメンバーが来てないというのは良くないと思います。特にそのような話があった後の例会で理事が来てないというのは芳しくないです。そのへんを鑑みて10月11月12月もう一度執行部全員しめなおして頂きたいと思います。65%の出席率にしては、もったいない例会の内容です。ストリートダンスって実際にやる仕事がないという話がありますが、ダンスが終わった後に拍手をしてあげるのだけでもメンバーのやるべき姿だと思うのでその辺はもう一度委員会に落とし頂くようよろしくお願いいたします。

報-07 職務執行報告について

<中島(崇)>割愛させていただきます。

報-08 次回開催について

<中島(崇)>10月7日(火)19:00～ コンセーレ JCRルームにて開催。

15. 監事講評

<黒川>

まずは総務委員会の皆さま本日の設営ありがとうございます、そしてお疲れ様でした。理事長より議事録の話がありましたが、私からお願いしたいのが、作るのもすごく大変だと思います。もっとこの内容を見て頂きたいと思います。やっぱり、理事長挨拶にしても多くのことを学べることだと思いますので、しっかりとそういったところも見ながら議事録を作って頂ければと思います。また、総会案件が本日あがってきました。11月最後の締めくくりの総会となりますので、すばらしい設営を引き続きして頂ければと思います。本日特に議案に対して言うことはありませんが、今日ここにいて、去年の一年前を思い出してみました。この第一回常任予定者会議から約一年が経つんだなあと思っていました。やはり一年経つとこの常任構成メンバーもすごく成熟しているんだなあと思いました。今日は高松副議長も代理で出席されていて、何年も常任構成メンバーとして頑張ってきた高松副議長が来られたこともあって、すごくよくなってきた常任理事会だなと思いました。先ほど、専務からお話のありました先日のストリートダンス選手権の方は出席率が少ないということで、当日私も残念に思いました。やっぱりこれは、委員会だけの努力だけじゃないと思います。各委員会の委員長や常任理事会構成メンバーが委員会に落とし込んで頂いて出席を促して頂きたい。やっぱり、何も無いじゃなくて委員会が作

り上げたものを見に行つてあげるというのは、仲間として当然のことじゃないのかと思います。ですから常任理事会構成メンバーはしっかりと例会に関してメンバーへの促しをおこなつて頂ければと思います。最後になりますが、残り4ヶ月この常任理事会構成メンバーが勢いをもってこのLOMを盛り上げて頂いてそんなことをお願い申し上げ私からの講評とさせていただきます。本日はお疲れさまでした。

#### 16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所  
2014年度 第9回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会